



2024年度 第2四半期 決算説明会資料 (2023年11月-2024年4月)

2024年6月28日

巴工業株式会社

(証券コード：6309)



ページ#	目 次	トピックス
3	2024年度 第2四半期 決算概要説明	両事業部の販売好調により売上・利益ともに通期見通しに対して順調に推移
11	2024年度 10月期通期業績見通し	- 連結営業利益、同経常利益は4期連続最高益を更新し当期純利益は過去最高益を更新する見込み 2024年6月「業績予想の修正」および「増配」を発表
20	企業価値向上に向けた成長戦略	成長戦略の中間報告と両事業部の取組み紹介



2024年度 第2四半期 決算概要説明

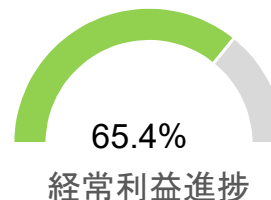
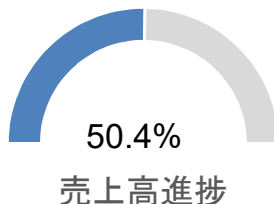
2024年度 第2四半期 決算概要



- ・ 売上高は、化学工業製品販売事業、機械製造販売事業の販売がいずれも増加したため前年同期比10.0%増
- ・ 経常利益は、両事業共に増益となったことから前年同期比44.9%増
- ・ 通期見通し進捗率は、売上高50.4%、経常利益65.4%

(単位：百万円)

	23/O4	24/O4	前年対比		通期 (修正後)	
	実 績	実 績	増 減	前年比 (%)	見通し	進捗率 (%)
売上高	24,155	26,580	+2,425	+10.0	52,780	50.4
営業利益	2,062	2,958	+895	+43.4	4,540	65.2
経常利益	2,075	3,007	+932	+44.9	4,600	65.4
四半期純利益	1,416	2,138	+722	+51.0	3,130	68.3



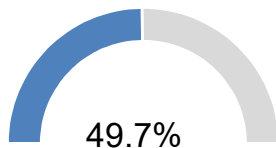
2024年度 第2四半期 決算 -化学工業製品販売事業-



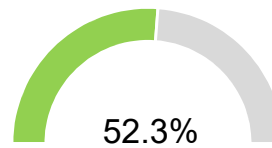
- ・ 売上高は、半導体製造用途向け(前工程)材料、建材・耐火物・自動車向けを主とした材料、コーティング用途向け材料等を中心に販売が伸長し前年同期比5.0%増、営業利益は前年同期比2.5%増
- ・ 通期見通し進捗率は、売上高49.7%、営業利益52.3%

(単位：百万円)

	23/04		24/04		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	18,357	-	19,277	+5.0	-
売上総利益	4,167	22.7	4,357	+4.6	22.6
営業利益	1,735	9.5	1,779	+2.5	9.2



売上高進捗



営業利益進捗

2024年度 第2四半期 決算 -化学工業製品販売事業-



(単位：百万円)

	23/04	24/04	差 異	主な増減要因
化成品関連	4,224	4,494	+270	新規商権獲得により、コーティング用途向けがプラス
機能材料関連	3,016	3,421	+404	半導体製造用途向け材料(前工程向け)が好調によりプラス
工業材料関連	2,983	3,225	+242	首都圏再開発案件の進展によるコンクリート混和材が好調
鉱産関連	2,897	3,178	+281	主に自動車用途向け難燃助剤の好調によりプラス
電子材料関連	2,518	2,427	▲91	半導体組立用途向け材料(後工程向け)が市況悪化の影響を受けマイナス
合成樹脂関連	2,582	2,401	▲180	円安による価格競争力低下により輸入樹脂の販売がマイナス
その他(洋酒)	134	128	▲5	2024年2月に洋酒事業売却
合 計	18,357	19,277	+920	

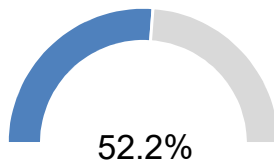
2024年度 第2四半期 決算 -機械製造販売事業-



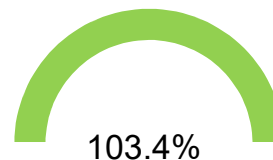
- 売上高は、国内官需の装置/工事および部品/修理の販売が伸び、国内民需の販売が全体的に好調
海外向け部品/修理の販売が前年度からの繰越案件もあり、大きく伸長し前年同期比25.9%増、営業利益259.6%増
- 通期見通し進捗率は、売上高52.2%、営業利益103.4%

(単位：百万円)

	23/04		24/04		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	5,798	-	7,302	+25.9	-
売上総利益	2,027	35.0	2,994	+47.7	41.0
営業利益	327	5.7	1,179	+259.6	16.1



売上高進捗



営業利益進捗

2024年度 第2四半期 決算 -機械製造販売事業-



(単位：百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	23/04	343	422	1,791	2,556	機械：大型案件がなく、マイナス 装置/工事：当期完了案件数増加により大幅プラス 部品/修理：大型案件受注により大幅プラス
	24/04	231	748	2,104	3,085	
	差異	▲111	+326	+313	+528	
民 需	23/04	219	2	975	1,197	機械：化学工業向け案件がありプラス 装置/工事：半導体向け装置により大幅プラス 部品/修理：化学工業向け案件がありプラス
	24/04	432	300	1,017	1,750	
	差異	+213	+297	+41	+552	
海 外	23/04	915	87	1,041	2,043	機械：前年同期以上に大型案件がありプラス 装置/工事：案件なし、マイナス 部品/修理：前年度からの繰越案件で大幅プラス
	24/04	967	0	1,499	2,466	
	差異	+52	▲86	+458	+423	
合 計	23/04	1,478	512	3,807	5,798	
	24/04	1,632	1,049	4,620	7,302	
	差異	+154	+537	+813	+1,504	

2024年度 第2四半期 決算 -B/S (連結)-



(単位：百万円)

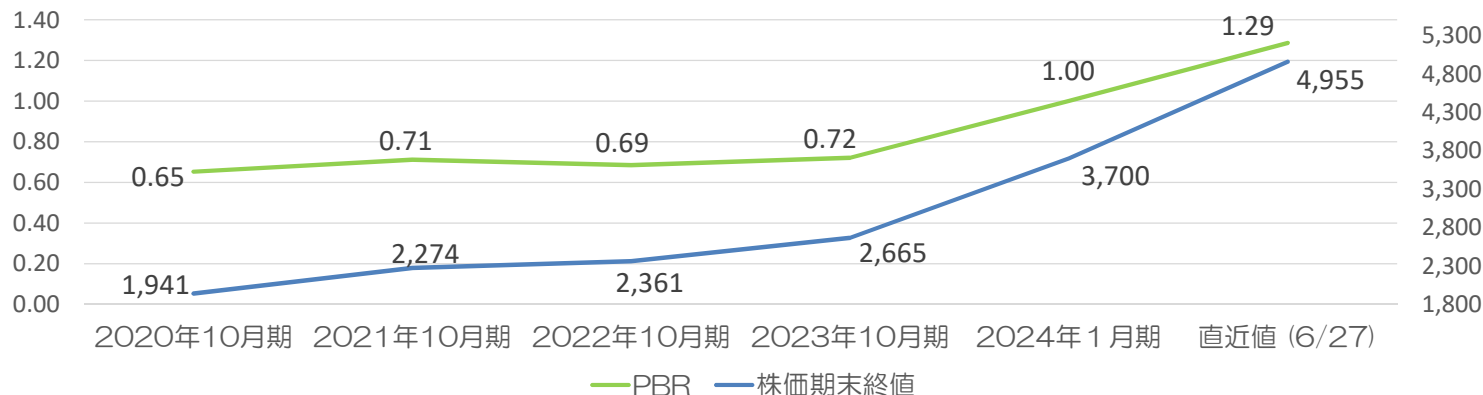
	23/10	24/04	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動資産	39,029	40,831	1,802	4.6	受取手形、売掛金及び契約資産 ▲238 原材料及び貯蔵品 ▲61 現金及び貯金 +1,261 商品 及び製品 +596
固定資産	9,977	10,073	96	1.0	
資産合計	49,007	50,905	1,898	3.9	
	23/10	24/04	増減	前年比 (%)	主な増減要因
流動負債	11,359	11,452	93	0.8	賞与引当金 ▲452 未払金 ▲70 支払手形及び買掛金 +363 電子記録債務 +283
固定負債	814	1,012	197	24.3	
負債合計	12,174	12,464	290	2.4	
純資産合計	36,832	38,440	1,607	4.4	
負債・資本合計	49,007	50,905	1,898	3.9	

2024年度 第2四半期 PBR推移



	2020年 10月期	2021年 10月期	2022年 10月期	2023年 10月期	2024年 1月期	直近値 (6/27)
一株当たりの純資産 (円)	2,973	3,191	3,446	3,691	3,701	3,852
株価期末終値 (円)	1,941	2,274	2,361	2,665	3,700	4,955
PBR (倍)	0.65	0.71	0.69	0.72	1.0	1.29

PBR (株価純資産倍率) 推移





2024年度10月期 通期業績見通し

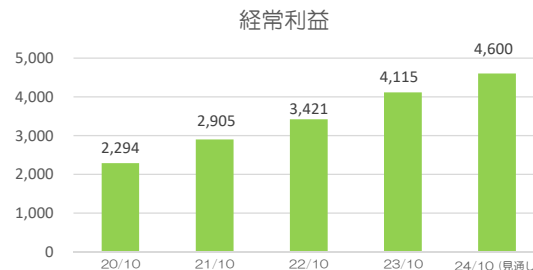
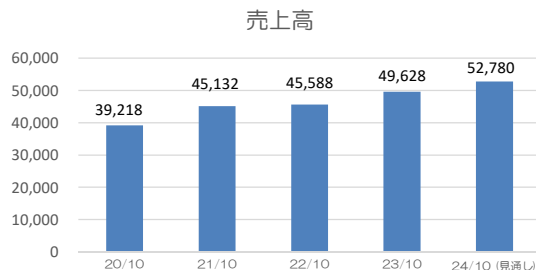
2024年度 10月期 通期業績見通し



- ・ 通期業績見通しを上方修正
- ・ 下期にかけて上期比で減益となるものの、前年比で増収増益の見通し

(単位：百万円)

	23/10	24/10				前年比 (修正後)	
	実 績	上 期	下 期	通期見通し (修正後)	当初見通し	増減	前年比 (%)
売上高	49,628	26,580	26,200	52,780	51,800	+3,152	+6.3
営業利益	4,048	2,958	1,582	4,540	4,180	+492	+12.2
経常利益	4,115	3,007	1,593	4,600	4,200	+485	+11.8
当期純利益	2,733	2,138	992	3,130	2,930	+397	+14.5



* 2022年10月期の売上高から新たな収益認識基準を適用しています

2024年度 10月期 通期業績見通し -化学工業製品販売事業-

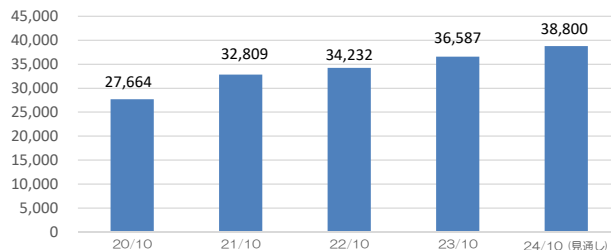


- ・ 下期は上期比で増収を見込むものの、人件費・経費の増加から営業利益は減益となる見通し
- ・ 前年対比では、いずれも増収増益を見込む

(単位：百万円)

	23/10		24/10				
	金 額	利益率 (%)	上 期	下 期	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	36,587	-	19,277	19,523	38,800	+6.0	-
売上総利益	8,183	22.4	4,357	4,343	8,700	+6.3	22.4
営業利益	3,218	8.8	1,779	1,621	3,400	+5.6	8.8

売上高



* 2022年10月期の売上高から新たな収益認識基準を適用しています

2024年度 10月期 通期業績見通し -化学工業製品販売事業-



(単位：百万円)

	23/10	上期	下期	24/10 (通期)	通期差異	主な増減要因
化成品関連	8,573	4,494	4,573	9,068	+494	上期同様、下期も好調を維持し、通期見通しプラス
機能材料関連	6,190	3,421	4,798	8,220	+2,029	上期好調に加えて、下期はSiC半導体製造装置向け材料の好調を 見込み大幅プラス
工業材料関連	5,738	3,225	3,287	6,513	+774	上期好調要因の持続が見込まれ、通期見通しプラス
鉱産関連	5,630	3,178	2,902	6,081	+450	上期対比で若干の減収を見込むものの、通期見通しではプラス
電子材料関連	4,910	2,427	2,115	4,544	▲366	上期に続き、半導体組立用途向け材料(後工程向け)の回復遅れを見込み 通期見通しマイナス
合成樹脂関連	5,298	2,401	1,821	4,223	▲1,075	上期減少要因に加えて、中国市況の低迷が見込まれることから大幅マイナス
その他(洋酒)	246	128	23	151	▲95	2024年2月に洋酒事業売却の影響で通期見通しマイナス
合 計	36,587	19,277	19,519	38,800	+2,212	

2024年度 10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-

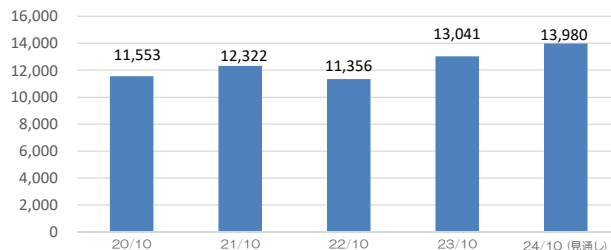


- ・ 上期は国内官需全般および海外における前年度からの繰越案件も重なり例年以上に好調
- ・ 下期は上期対比官需の大幅な減収に加えて、人件費・経費の増加の影響により営業利益はマイナスとなる見通し
- ・ 通期見通しにおいては、前年比でいずれも増収増益を見込む

(単位：百万円)

	23/10		24/10				
	金 額	利益率 (%)	上 期	下 期	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	13,041	-	7,302	6,678	13,980	+7.2	-
売上総利益	4,361	33.4	2,994	2,146	5,140	+17.9	36.8
営業利益	829	6.4	1,179	▲39	1,140	+37.5	8.2

売上高



* 2022年10月期の売上高から新たな収益認識基準を適用しています

2024年度 10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-



通期見通し上期下期差異

(単位：百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	上期	231	748	2,104	3,085	装置/工事：上期は年度末案件増に対し、 下期は大幅マイナス 部品/修理：上期は年度末案件増に対し、 下期は大幅マイナス
	下期	224	463	1,033	1,721	
	差異	▲7	▲285	▲1,071	▲1,364	
民 需	上期	432	300	1,017	1,750	機械：下期も堅調に推移し大幅プラス 装置/工事：大型案件は上期に売上、下期は大型案件がない 部品/修理：下期も堅調に推移し大幅プラス
	下期	631	25	1,401	2,058	
	差異	+199	▲275	+384	+308	
海 外	上期	967	0	1,499	2,466	装置/工事：上期ゼロに対し、小型案件によりプラス 部品/修理：下期も好調に推移し大幅プラス
	下期	875	72	1,949	2,898	
	差異	▲92	+72	+450	+432	
合 計	上期	1,632	1,049	4,620	7,302	
	下期	1,731	561	4,384	6,678	
	差異	+99	▲488	▲236	▲624	

2024年度 10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-



前年度比較

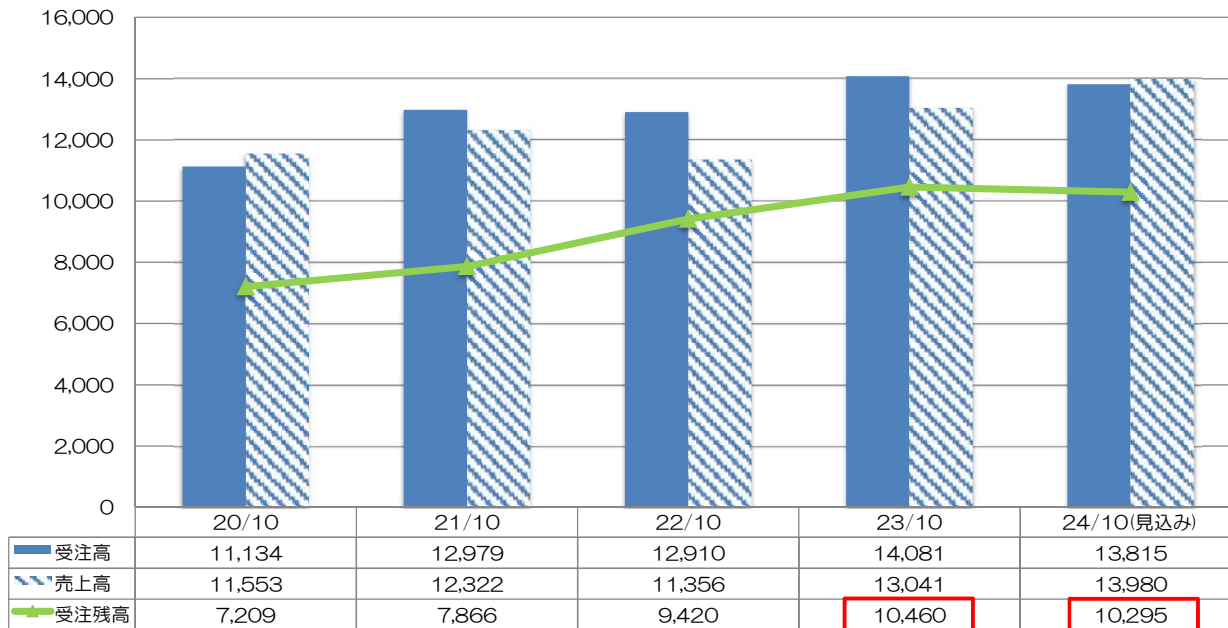
(単位：百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	23/10	909	977	2,700	4,586	機械：大型案件がなく大幅減少 装置/工事：大型案件に加え中型案件も安定し大幅プラス 部品/修理：修理案件の増加に伴い部品も堅調に推移し 大幅プラス
	24/10	456	1,212	3,138	4,807	
	差異	▲452	+235	+438	+220	
民 需	23/10	704	15	2,212	2,932	機械：案件増加により大幅プラス 装置/工事：半導体向け装置の売上により大幅プラス 部品/修理：堅調に推移し大幅プラス
	24/10	1,064	325	2,418	3,809	
	差異	+359	+310	+206	+876	
海 外	23/10	2,797	160	2,565	5,522	機械：大型案件が減少し大幅マイナス 装置/工事：案件数減少によりマイナス 部品/修理：前年度からの繰越案件も重なり大幅プラス
	24/10	1,843	73	3,448	5,365	
	差異	▲953	▲86	+883	▲157	
合 計	23/10	4,411	1,152	7,477	13,041	
	24/10	3,364	1,611	9,005	13,980	
	差異	▲1,046	+458	+1,527	+939	

2024年度 10月期 受注残 -機械製造販売事業-



- 2024年度 10月期における受注残は、前年度比微減



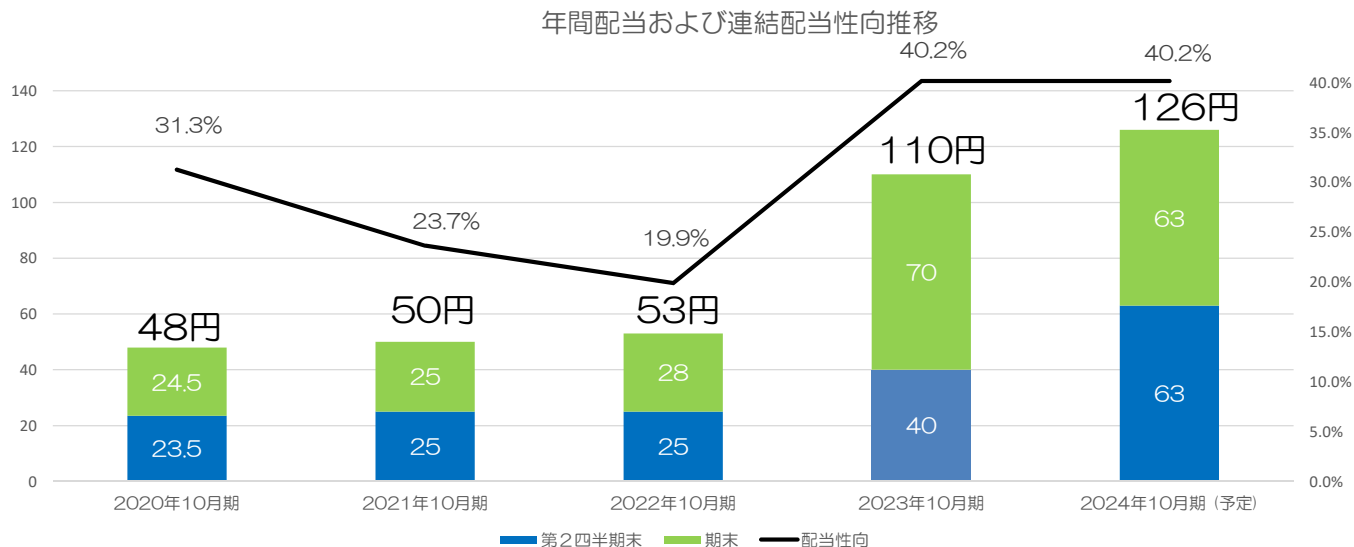
* 2022年10月期の売上高から新たな収益認識基準を適用しています

株主還元(配当)



2023年12月に発表しました新しい配当方針にもとづき、年間配当金の増配を実施

- 2024年 10月期 第2四半期末配当金は60円 → 63円へ増配
- 2024年 10月期 期末配当金は60円 → 63円へ増配予想
- 年間配当金は120 → 126円を予想





企業価値向上に向けた成長戦略 (中間報告)

鈇産関連：三酸化アンチモン・マスターバッチ

三酸化アンチモンとは？

難燃助剤として使用され、主にプラスチック、ゴム、繊維等の高分子有機材を難燃化するために広く使用され、火災による人的・経済的損失を防止するのに大きく貢献している添加材

マスターバッチとは？

微粉末材料の添加材を錠剤のように成形されたもので、マスターバッチ化する事で粉体材料の飛散や汚染防止、効率的な混合、作業の効率化に貢献



従来の微粉末タイプ
三酸化アンチモン



フランス製
三酸化アンチモン・マスターバッチ

- 樹脂向け難燃助剤は、自動車、OA機器、家電製品などの部品に添加材として使用される
- 繊維(耐火服/作業着)や建材(内装部材)などにも使用されている
- 粉塵対策、作業現場環境対策の為、今後はマスターバッチの需要は増加して行く

鉍産関連：三酸化アンチモン・マスターバッチ



従来微粉末
三酸化アンチモン

単位：トン

5,000

4,500

4,000

3,500

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

2016

2017

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

2026

2027

2028

市場動向イメージ (当社調べ)



三酸化アンチモン・マスターバッチ

2017年~2023年

2024年以降

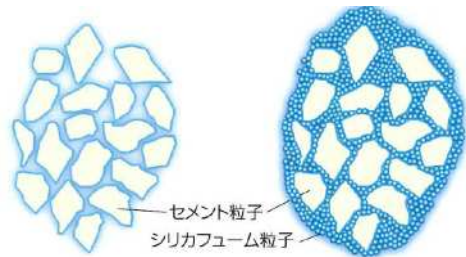
工業材料関連：建築向け商品シリカフューム

シリカフュームとは？

粒径 $0.15\mu\text{m}$ とタバコの煙ほどの非常に細かい粒子であり、高性能なコンクリートの混和材として使用され、コンクリートの強度向上、耐久性向上、流動性の改善などの効果がある

通常コンクリート

高強度コンクリート



シリカフューム

なぜ当社のシリカフューム？

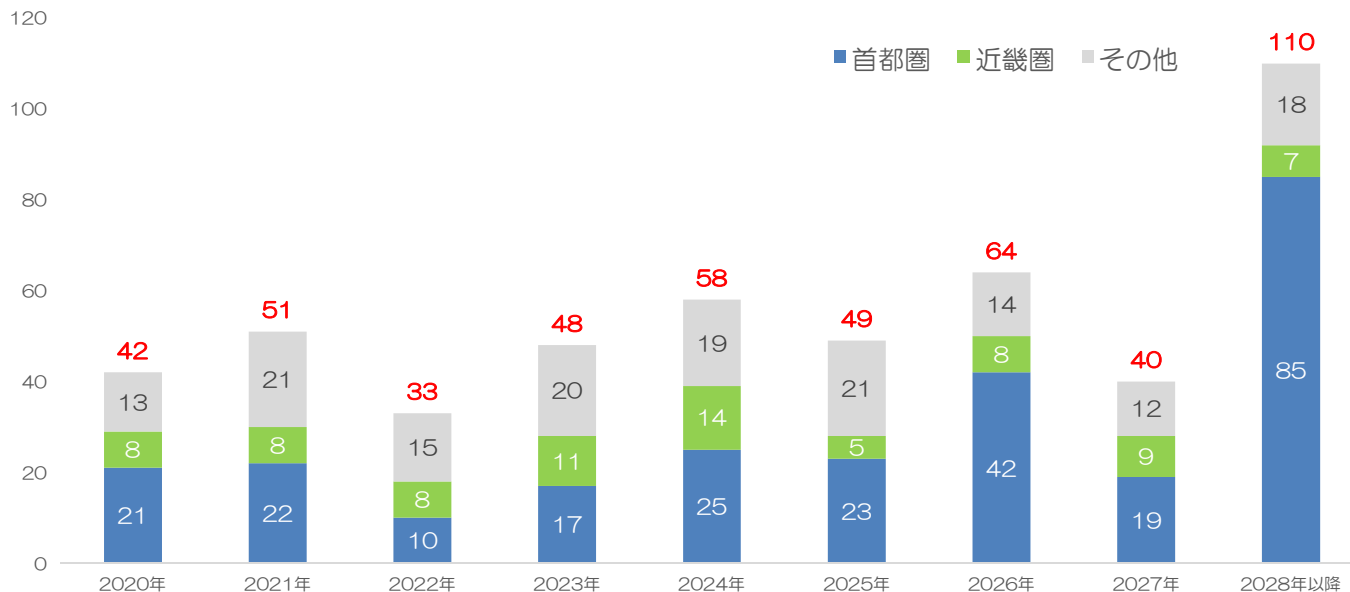
超高層ビル向けコンクリートは、日本の耐震設計を満たすため鉄筋がコンクリート型枠内に通常より数多く入ります。その型枠内に超高強度コンクリートを打設しますが、そのコンクリートには高い流動性が出せるシリカフュームが求められます。この流動性を確保できるシリカフュームは当社取扱い品を含め数種類しか無いため、当社が高いシェアを持っています。



- ・ 超高層ビルの柱、梁、耐力杭に使用
→ 超高強度コンクリートは、柱、梁を細くし建物を超高層化することができ、移住空間の最大化に貢献

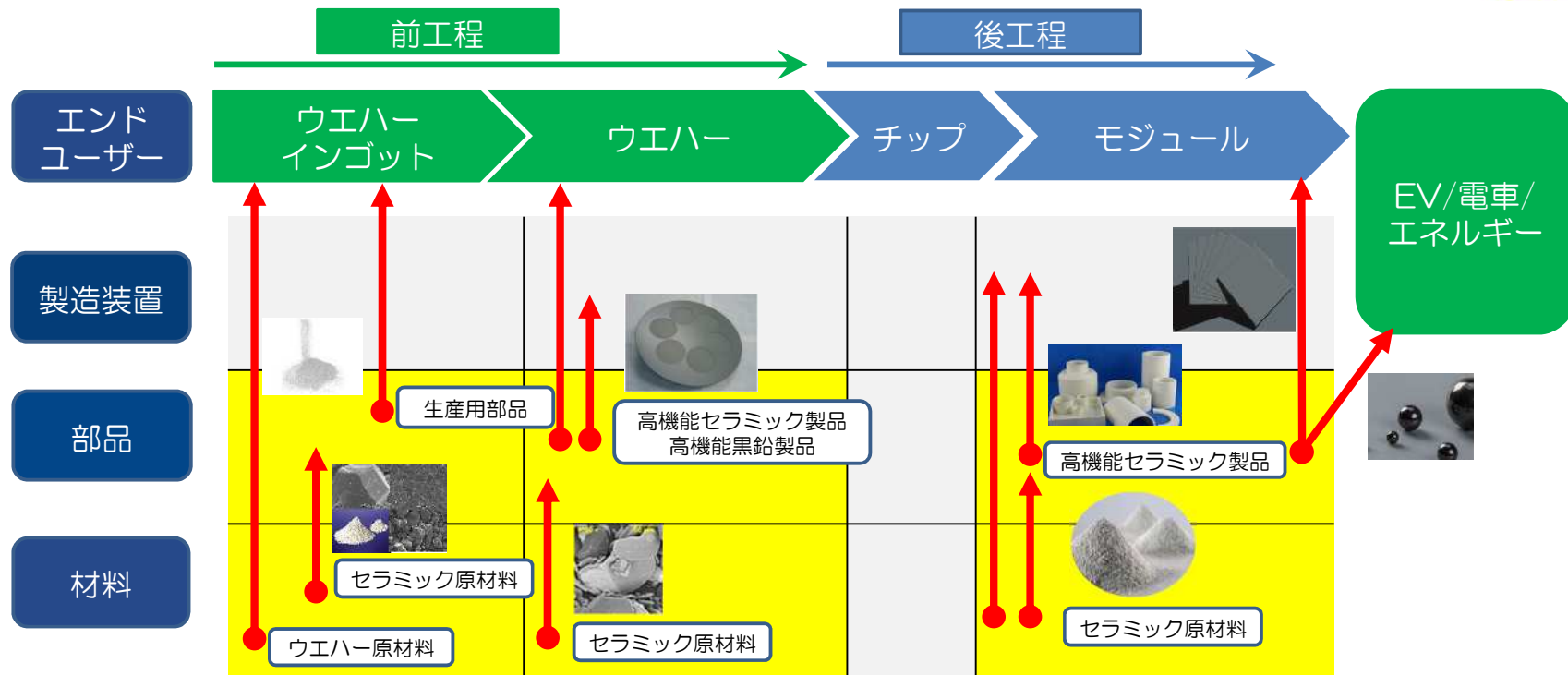
工業材料関連：建築向け商品シリカフューム

超高層マンション（20階建以上）年次別計画棟数



出典：（株）不動産経済研究所 マンションデータ・ニュース
2024年5月8日付「超高層マンション動向2024」

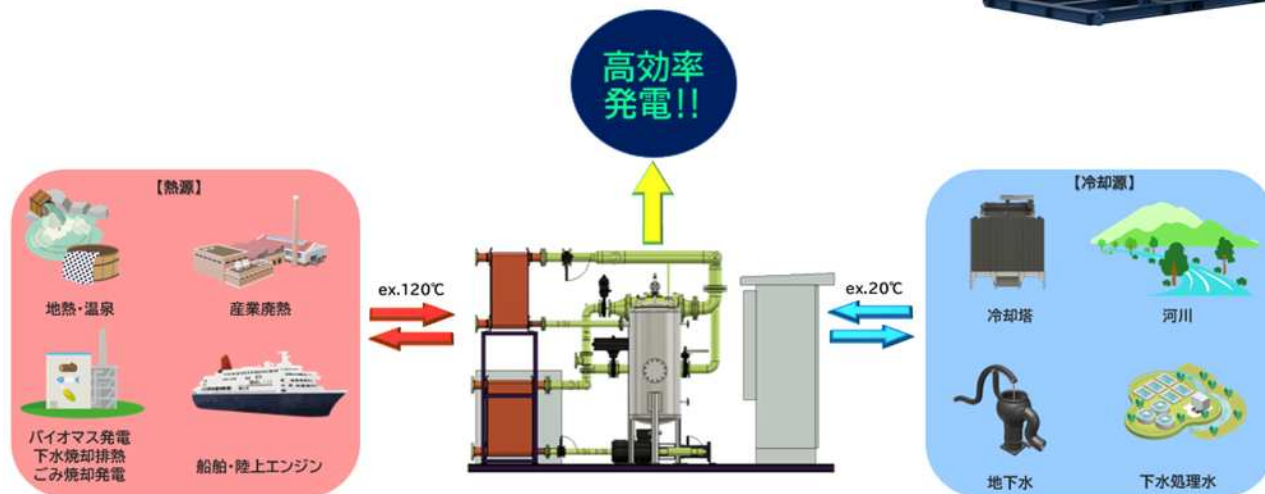
化学工業製品販売事業 (パワー半導体での商権確立)



機械製品販売事業 (バイナリー発電装置の販売開始)



- 100kW級(大型機)の第1回目の実証実験終了し、品質・性能・課題検証中
- 第一段階として小規模未利用熱市場をターゲットとし小型機の市場投入に向けて進行中
- 当社の強みは発電装置単体販売のみならず、付帯設備、建設およびアフターメンテナンスを含めた一括請負が可能
- 現在、販売見込み先6社と商談を進行中



インド駐在員事務所をチェンナイに8月下旬に設置

- ・ 駐在員事務所の登記は2024年6月に完了
- ・ 8月下旬より市場調査を本格活動



सत्यमेव जयते

GOVERNMENT OF INDIA
MINISTRY OF CORPORATE AFFAIRS

ROC Delhi

4, New Delhi, 4th Floor IFCI Tower, 61, Delhi, 110019, India

Certificate for Establishment of Place
of Business in India

Foreign Company Registration Number: F06886

Year 2024

I hereby certify that Form No. FC-1 dated 07/05/2024 filed under section 380 of the Companies Act, 2013 notifying establishment of place of business in India with effect from 07/05/2024 by M/s TOMOE ENGINEERING CO., LTD. a Company originally incorporated in Japan has been registered.

Given under my hand at New Delhi this FOURTH day of JUNE TWO THOUSAND TWENTY FOUR



〈注意事項〉

本資料に掲載されている業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ
巴工業株式会社
経営企画部 IR・企画課
E-mail : ir-info@tomo-e.co.jp